

第15回 周南市美術展2017 目録

会場 周南市美術博物館

前期 書・写真 平成29年10月11日(水)～10月15日(日)

後期 平面・立体 平成29年10月18日(水)～10月22日(日)

9時30分～17時

市美展大賞・準大賞作品は、前期・後期通じて展示します



市美展大賞 平面 「胡蝶の夢」 石原 陽一

主催 周南市

主管 周南市美術展運営委員会

後援 周南文化協会

協力 周南書道連盟 周南陶芸連盟 周南美術連盟 周南手工芸連盟 周南水墨画連盟
周南写真連盟

第15回周南市美術展2017 審査員紹介

平面の部

なかむら みゆき

中村 美幸（下関市立美術館館長） 1959年生

山口大学人文学部人文学科（美学美術史）卒業（1982年）

準備室を経て1983年から下関市立美術館勤務

「竹久夢二と日本のアール・ヌーボー」を企画担当、「贈答の美 袱紗展」「絵で読む宮沢賢治展」のほか、絵本展を中心に展覧会を担当

ほらい てるあき

原井 輝明（宇部フロンティア大学短期大学部准教授・画家） 1965年生

東京藝術大学大学院博士課程後期単位取得後退学後、地元で活動拠点を移し創作活動が続ける傍ら、地元のアーティストらと交流・活動を目的に2005年よりFCAを結成し、空き店舗のシャッター壁画制作、無人駅でのアートプロジェクトなどに取り組む

エネルギー美術賞受賞（2003年）、第66回山口県芸術文化振興奨励賞受賞（2015年）

立体の部

やま と ゆうじ

大和 祐二（陶芸家） 1946年生

立命館大学法学部卒業（1969年）

日本工芸会山口支部展朝日新聞社奨励賞受賞（1989年）、日本工芸会山口支部展朝日新聞社賞受賞、日本工芸会正会員となる（1990年）、田部美術館茶の湯の造形展優秀賞受賞（1995年）、日本工芸会山口支部展審査員特別賞受賞（1997年）、山口県芸術文化振興奨励賞受賞（1997年）、日本工芸会山口支部展朝日新聞社賞受賞（1999年）、日本工芸会山口支部展審査員賞受賞（2000年）、日本工芸会山口支部展NHK放送局賞受賞（2002年）、日本工芸会山口支部展支部長賞受賞（2004年、2005年）、山口県文化功労賞受賞（2006年）、芸術文化功労山口県選奨受賞（2008年）、萩の陶芸家たち展優秀賞受賞（2013年）

萩焼400年パリ展出品（2000年）、日本伝統工芸展入選19回、日本陶芸展入選6回

日本工芸会山口支部常任幹事

ひとくわ だ とおる

一蹴田 徹（広島大学大学院教育学研究科教授・彫刻家） 1964年生

千葉大学大学院教育学研究科美術教育専攻修了（1990年）

日展（特選2005・07年、審査員2015年）、日彫展（奨励賞1995・96・97年、日彫賞2001・02年、西望賞2007年）、白日展（白日賞1989年、長島美術館長賞1997年、吉田賞2009年ほか）、現代日本具象彫刻展（1992・94年・98年）など出品、受賞歴多数

個展「ヒロシマのピエタ」展（2007年、広島市立本川小学校・被爆建物）

第15回エネルギー美術賞（2009年）、第26回県民文化奨励賞（2010年）ほか

書の部

松田 政道 (梅光学院大学特任准教授・書家) 1952年生
東京学芸大学教育学部卒業(1976年)
『現代書写字典』(木耳社 1986年 共著)、『書道技法辞典』(木耳社 1998年 共著)
山口県書道連盟理事

信廣 友江 (安田女子大学文学部書道学科教授・書家) 1952年生
安田女子大学文学部卒業(1975年)、神戸大学大学院総合人間科学研究科博士後期課程修了(2007年)、博士(学術)(2007年)
書学書道史学会理事・諮問委員、第4回新県美展(第68回広島県美術展)審査員(2016年)、世界書芸全北ビエンナーレ(韓国)招待作家(2009年)
著書に、『国民学校「芸能科習字」』(出版芸術社 2006年 単著)、『占領期小学校習字』(出版芸術社 2011年 単著)、『茶掛を読む(弐)墨跡』(講談社 1997年 共著)、『茶掛の一行書』(講談社 1999年 共著)、『書学挙要』(藝文書院 2001年 共著)、『マンガ書の歴史(殷～唐)』(講談社 2004年 共著)、『マンガ書の歴史(宋～民国)』(講談社 2005年 共著)、『岩波世界人名大辞典』(岩波書店 2013年 共著)など

写真の部

若松 布美子 (写真家) 1973年生
九州産業大学大学院芸術研究科写真専攻卒業(1997年)
第2回国際写真ビエンナーレ企業賞受賞(1997年)、秋山写真工房フォトコンテスト大賞 秋山賞受賞(1999年)、西日本新聞「21世紀 鏡」連載(2001年)、第2回上野彦馬フォトコンテスト 大学賞受賞(2001年)、九州産業大学芸術学部写真学科講師(2006～2010年)、博多織プロモーション計画 教育功労賞受賞(2010年)
「消滅する時空」(2015年 ニコンプラザ新宿/ニコンプラザ大阪/ニコンサービスセンター福岡/ニコンプラザ名古屋)、「W-Select」(2015年 熊本デザイン専門学校)など個展、多数開催

藤岡 亜弥 (写真家) 1972年生
日本大学芸術学部写真学科卒業
2008年新進芸術家海外研修制度(文化庁)の研修員としてNYに滞在、2012年帰国、現在広島在住
写真集に「さよならを教えて」(ビジュアルアーツ出版 2004年)、「私は眠らない」(赤々舎 2009年)、「川はゆく」(赤々舎 2017年)
日本写真協会新人賞受賞(2010年)、第41回伊奈信男賞(2016年)、第26回林忠彦賞最終候補(2016年、2017年)

平面	出品数112 (市美展大賞1・市美展準大賞1・市美展賞5・奨励賞21・入選63)		
No.	タイトル	氏名	賞
1	胡蝶の夢	石原 陽一	市美展大賞
2	深雪	原田 勝造	市美展準大賞
3	ガール・ガール	渡邊 俊行	市美展賞
4	時は流れて	田辺 豊和	市美展賞
5	黄色いゴーヤ	由本 正文	市美展賞
6	初夏の元乃隅稲成神社	橋本 美保子	市美展賞
7	公園	藤井 美彦	市美展賞
8	むらさき 流・流・流	渡邊 俊行	奨励賞
9	弁天しだれ桜	松原 セツ子	奨励賞
10	青春のひとこま	原田 富士子	奨励賞
11	オニオンⅡ	森口 須美恵	奨励賞
12	水引 (周南市大島の棚田)	藤井 和彦	奨励賞
13	多忙な夕暮れ	秋本 町子	奨励賞
14	母の庭にて	玉井 みはる	奨励賞
15	参道の巨木	藤井 剛	奨励賞
16	Re : birth	吉田 裕子	奨励賞
17	夢想花	岡 明代	奨励賞
18	騎士団の塞 (ゴゾ島)	升 節子	奨励賞
19	桜咲く	小西 美佐江	奨励賞
20	アン・夢に向かって	安澤 幸枝	奨励賞
21	海の嵐	佐藤 ミナエ	奨励賞
22	和み	神田 千代子	奨励賞
23	そら浮け もっと浮け	三宅 恵子	奨励賞
24	牡丹	植村 侃司	奨励賞
25	アクアリウム	田嶋 杏菜	奨励賞
26	春、少女に	徳原 貴美子	奨励賞
27	刻	森重 弘子	奨励賞
28	アニマル女子会	伊藤 加奈子	奨励賞
29	猫・ネコ・ね〜こ。	河村 祥子	入選
30	(和紙絵) あやめ	友森 新二	入選
31	想う Ⅱ	津田 鈴子	入選
32	戯れて (たわむれて)	磯金 壽南子	入選
33	望郷	橋本 美穂	入選
34	花の詩	田邑 昌子	入選
35	暗香疎影図	武居 映子	入選
36	春山吟行	延本 幸枝	入選
37	巖上弾琴図	國弘 具子	入選
38	雪の舞	上野 拓真	入選
39	ラグビー・ゴール	琴山 素行	入選
40	雲水	琴山 素行	入選
41	松雲流泉図	友澤 康彦	入選
42	春の山里	藤本 信子	入選
43	春靄起鴉図	合田 良子	入選
44	悠久の時を経て (小豆島)	戸村 佳子	入選
45	一希一優	松浦 寿美子	入選
46	水に添い	細山田 洋子	入選
47	遠い日の鳥のメモリー	森口 須美恵	入選
48	鵜飼遊観	吉村 佑一	入選
49	トレドへの道 (スペイン)	蔵田 省三	入選
50	輝	高橋 敬子	入選
51	3つ目の墮天使	石村 健志	入選
52	旺ちゃんの夢旅行	門出 奈津子	入選
53	あい♡藍	久保 富子	入選

No.	タイトル	氏名	賞
54	赤い燈台 (島原港)	橋野 一枝	入選
55	1978小樽運河と船	吉村 るり子	入選
56	雉と竹林	兼安 正人	入選
57	モザイク形態	東島 晋	入選
58	さくら	中島 悦子	入選
59	虹の中の花たち	山縣 道春	入選
60	急流	津山 義秀	入選
61	竹林の春	磯辺 亜夫	入選
62	ストックホルム	磯辺 亜夫	入選
63	水の都・ブルージュ	佐々木 祥子	入選
64	大玉杉	三宅 司郎	入選
65	梅林山水図	内山 憲子	入選
66	アイス・モンスター (蔵王樹氷)	後藤 武司	入選
67	フラワー・ロード	藤本 怜子	入選
68	郷の秋	福谷 佳子	入選
69	山羊の愛	恵村 正昭	入選
70	宙	橋本 恵子	入選
71	飛べるよ!!	松浦 直美	入選
72	諸行無常の響きあり	池田 郁子	入選
73	始まりは缶切り	中股 恵子	入選
74	白い記憶	新原 美奈子	入選
75	皆んなマネキン、どの髪型にするか?お決め下さい パート2	柏木 玲子・あゆみ	入選
76	まどろみ	河北 律子	入選
77	想いは虹の橋へ	小田 妙美恵	入選
78	広がる香り	山田 和子	入選
79	周南大橋を描く	山野井 三郎	入選
80	笠戸湾を望む	山野井 三郎	入選
81	ティタイム	大下 ゆり子	入選
82	ばら	藤原 弘美	入選
83	小畑の棚田	高橋 功夫	入選
84	二人のひととき	松浦 清子	入選
85	バラの咲く園	安本 恵子	入選
86	春山水閣清話図	恵本 正彦	入選
87	ばらと蜂	蔵重 多恵子	入選
88	再考	山本 勇哉	入選
89	胎動	東中村 華帆	入選
90	みい~つけた	菅本 典子	入選
91	月下双蝶	池田 美和	入選

立体 出品数43 (市美展準大賞1・市美展賞5・奨励賞8・入選22)			
No.	タイトル	氏名	賞
1	蓮 -REN-	山根 公子	市美展準大賞
2	蘭花万華写変幻柱	渡邊 俊行	市美展賞
3	抗う	西尾 司	市美展賞
4	木工細工画 錦の夏	清木 則行	市美展賞
5	壺	角屋敷 公子	市美展賞
6	変化	楊井 朋子	市美展賞
7	面取り多面壺	藤井 輝昭	奨励賞
8	上を向いて	川中 和好	奨励賞
9	強く・鉄鎖の絆	近森 整	奨励賞
10	只管打座	畑尾 史郎	奨励賞
11	遥	石光 順一	奨励賞

No.	タイトル	氏名	賞
12	道標・ヤベオオツノシカ	弘中 敬	奨励賞
13	『暮海・なぎさにて』	山本 恵美子	奨励賞
14	魚と花	中村 達雄	奨励賞
15	朱の筆あと	藤井 滋人	入選
16	萩焼オニ板うす掛花入	野島 勝利	入選
17	ばばの願い	吉村 静治	入選
18	金閣寺	河本 肇	入選
19	阿修羅	林 敏廣	入選
20	大地への祈りと鎮魂	渡邊 修	入選
21	下絵シオマネキ扁壺	蔵田 省三	入選
22	丹頂鶴祭器	蔵田 省三	入選
23	伝えたい、The Nippon	大野 美也子	入選
24	波の華	藤井 輝昭	入選
25	阿吽	川中 和好	入選
26	喜寿（午年）の祝い	藤本 孝子	入選
27	手付き	角屋敷 公子	入選
28	ワニなって遊ぼう！	小林 和子	入選
29	煙黒流線花器	角本 福美	入選
30	夜空の軌跡	山本 恵美子	入選
31	トルソー	河谷 真知子	入選
32	成龍の魚	中村 達雄	入選
33	萩焼線状紋壺	松本 るい子	入選
34	萩焼壺（宙）	松本 憲夫	入選
35	How do you do?	矢田 誠一	入選
36	幸せを運ぶ風車	竹野 利佐	入選

書 出品数47（市美展準大賞1・市美展賞5・奨励賞10・入選21）			
No.	タイトル	氏名	賞
1	白鳥は……	手嶋 孝子	市美展準大賞
2	陶淵明詩	飯田 邦子	市美展賞
3	世の中よ…	関口 正美	市美展賞
4	紫陽花のうた	高田 幸宏	市美展賞
5	針切古今集節臨	市川 チヅ子	市美展賞
6	万葉集巻第十1825	田中 寿代	市美展賞
7	鷹羽狩行の句	藤井 由希子	奨励賞
8	羚羊の群れ	村田 美由紀	奨励賞
9	李白詩	小林 純子	奨励賞
10	蟬しぐれ	中田 和恵	奨励賞
11	牧水の歌	吉本 美和子	奨励賞
12	西行のうた	田中 美智恵	奨励賞
13	郭馨詩	日笠 八重子	奨励賞
14	単調な空間	前田 富子	奨励賞
15	無為	江藤 マサ子	奨励賞
16	大海人皇子のうた	中津井 和子	奨励賞
17	残雨	中村 佳代子	入選
18	黄花穂	杉本 晴美	入選
19	白楽天詩	河本 明子	入選
20	良寛のことば	兼重 博子	入選
21	阮籍詩	田畑 美代子	入選
22	大盂鼎	森脇 萬雄	入選
23	雲崗石窟	中田 和恵	入選
24	真草千字文	櫛部 敦子	入選

No.	タイトル	氏名	賞
25	木簡の臨書	小八重 光子	入選
26	万葉のはな	藤末 廣子	入選
27	張猛龍碑	柴田 具子	入選
28	夕焼の…	貞久 俊子	入選
29	老子のことば	鎌田 昌子	入選
30	花源	杉村 悦子	入選
31	王漁洋詩	村谷 千代子	入選
32	袁枚詩	岩政 邦枝	入選
33	自用印	江藤 マサ子	入選
34	萬物	長谷川 淑恵	入選
35	亀寿鶴齡	下本 信子	入選
36	万葉のうた	田本 啓子	入選
37	左千夫のうた	山本 伸	入選

写真 出品数148 (市美展準大賞1・市美展賞5・奨励賞29・入選80)			
No.	タイトル	氏名	賞
1	まもなく徳山到着	福屋 重臣	市美展準大賞
2	いたずら	吉原 順子	市美展賞
3	太鼓の輪	町田 敏子	市美展賞
4	Time	重弘 佳子	市美展賞
5	福まわる	中村 光雄	市美展賞
6	トワイライト・ファンタジー	藤井 晃希	市美展賞
7	出陣前	戸村 愛子	奨励賞
8	白馬三山	数井 基幸	奨励賞
9	夕暮の輝き	立野 昌子	奨励賞
10	雲海	立野 智	奨励賞
11	夏の夜の夢	立野 智	奨励賞
12	七夕の夜	内山 えいじ	奨励賞
13	夏の子	内山 えいじ	奨励賞
14	四季の移ろい	深町 勝信	奨励賞
15	じいじといっしょ	辰川 泰朗	奨励賞
16	瞳	原田 睦子	奨励賞
17	池の秋	東島 晋	奨励賞
18	閉ざされて	新井 正義	奨励賞
19	夕風	藤本 武昭	奨励賞
20	進水式	小川 照彦	奨励賞
21	染まる錦川	西田 あや子	奨励賞
22	春かすみ	後藤田 稔	奨励賞
23	生涯現役	山本 由里子	奨励賞
24	秋の遠足	吉光 佑二	奨励賞
25	春雨に煙る	吉光 佑二	奨励賞
26	男衆	内山 和則	奨励賞
27	奇岩に立つ	溝口 智司	奨励賞
28	華	柳 美智子	奨励賞
29	寄りそって	友森 久子	奨励賞
30	子育て	竹林 賢二	奨励賞
31	仲睦まじく	竹林 賢二	奨励賞
32	糸島寸景	橋本 聡	奨励賞
33	山口維新残したい風景	藤本 要一	奨励賞
34	パンチャッカندا「いま・ここ」	弘中 秀夫	奨励賞
35	蹴ったのだから～れ!	末永 浩也	奨励賞
36	回廊の一本桜	檜野皮 毅	入選

No.	タイトル	氏名	賞
37	ママ大好き	宮崎 紀与二	入選
38	器作り	大田 美和子	入選
39	唐崎松	数井 基幸	入選
40	願いごと、色々	出口 幸男	入選
41	陰と陽の世界	長岡 信正	入選
42	曼珠沙華	森藤 茂雄	入選
43	これから何処へ	森藤 茂雄	入選
44	長州蕎麦 (秋芳八代)	浜田 心仁	入選
45	夕暮れの港	高松 美智子	入選
46	島の日常	山縣 清子	入選
47	跳ねるC (カーブ)	大木 洋子	入選
48	ハグして	飯田 友一	入選
49	夏、待てないじゃん!	山上 達也	入選
50	工場夕景	辰川 泰朗	入選
51	思ひで	川西 春季	入選
52	一緒に遊ぼう	河村 毅麿	入選
53	カゴと遊ぶ	河村 毅麿	入選
54	落葉の池	東島 晋	入選
55	月明かり	町田 弘	入選
56	古木の春	町田 敏子	入選
57	天空の星	久原 靖史	入選
58	晴れ姿	久原 靖史	入選
59	虚像	新井 正義	入選
60	ふぐの産卵	岩本 武夫	入選
61	railway (線路)	手嶋 文雄	入選
62	お花まつり	永尾 博美	入選
63	御姫様の御供	永尾 博美	入選
64	旦	福田 和紀	入選
65	涼	福田 和紀	入選
66	一休み	大野 伸夫	入選
67	天恵陽光	大野 伸夫	入選
68	クライマックス	後藤田 稔	入選
69	飛翔	手島 信之	入選
70	串柿の里	手島 信之	入選
71	名残の花	河村 志津代	入選
72	夢幻	中村 光雄	入選
73	トワイライトEX瑞風一番列車①	小堀 弘	入選
74	トワイライトEX瑞風一番列車②	小堀 弘	入選
75	PASSION	藤波 恭一	入選
76	秋の彩り	藤波 恭一	入選
77	少年の心	蒲池 弘吉	入選
78	紺青の光景	蒲池 弘吉	入選
79	水辺の妖精	原 浩二	入選
80	憧れ	原 浩二	入選
81	落合集落	蔵澄 安野	入選
82	奏者の想い	柳 美智子	入選
83	珍妙な古木	柳 信義	入選
84	生きる	柳 信義	入選
85	花菖蒲	友森 久子	入選
86	黄金色のカルスト	橋本 聡	入選
87	泥んこ娘の反省会	中村 正哉	入選
88	ゆづちゃん	多川 康男	入選
89	種まきの頃	中野 由香里	入選
90	おやつちょうだい!	中野 由香里	入選

No.	タイトル	氏名	賞
91	〔早瀬〕（高瀬峡）	平岡 正夫	入選
92	トトロごっこ	中村 啓太郎	入選
93	踊り上手は器量よし	中村 啓太郎	入選
94	「泣かすなよ・オレを」	弘中 秀夫	入選
95	試合終了、歓喜のホイッスル	末永 浩也	入選
96	名残りの月	浜田 美智江	入選
97	凜として	益本 誠二	入選
98	3つのブルー、気分爽快。	益本 誠二	入選
99	みんな恥ずかしがり屋さん	土本 崇	入選
100	月明かりの航路	土本 崇	入選
101	タユムコトナキナガレノナカデ	田村 忠浩	入選
102	光の衣をまとい	秋本 ナオミ	入選
103	主役花 演出光	秋本 ナオミ	入選
104	あなたを…	福屋 重臣	入選
105	三日月	木村 直美	入選
106	男たちの祭り	浅原 透	入選
107	好きな場所……親水公園	浅原 透	入選
108	瞳にくぎづけ	神田 裕子	入選
109	え！私を撮ってるの？	大谷 道毅	入選
110	下	山本 礼之	入選
111	精！盛！征！	末永 良明	入選
112	溺れるミサゴ	上村 大祐	入選
113	夏夜の指揮者	田中 航揮	入選
114	空中給油	桑田 昭二	入選
115	煙火、	戸倉 満	入選

《全体総括》

この度初めて周南市美術展の審査に参加しました。各部門とも作風や技法、モチーフ等多様性に富んでおり、幅広い層の人たちが参加されている印象を受けました。

平面部門は上位作品にやはり実力を備えた作品が並びました。大賞受賞作「胡蝶の夢」は、視点の斬新さと色彩の効果を活かした作品です。準大賞「深雪」は見る人を静謐な世界に誘ってくれます。

立体部門は土や金属、木材など素材も様々で、光を活かした立体造形もあり、審査が難しい部門だと思います。準大賞作「蓮—REN—」は、シンプルな形がシャープでありながら温かみのある表情で作者の人柄を感じさせます。

書部門は出品数は決して多くありませんが、それぞれの個性にあったバラエティに富んだ書体が並び、大作や迫力ある作品も多く見受けられました。準大賞「白鳥は……」は、文字の勢いとバランスが絶妙で、線の芸術といわれる書の魅力を存分に発揮しています。

写真部門は素直に写真を楽しんでいる作品が多かったとのこと。動物の愛らしさや人物の一瞬の表情をとらえた作品は見るものの心を和ませてくれます。準大賞「まもなく徳山到着」は、何気ない一枚のようで、実は高度なテクニックが使われており、夜空を駆ける銀河鉄道のような幻想的な空間が広がっています。

会場の展示スペースの関係で各部門とも選外を出さなければなりませんでしたが、入選作との差はそれほどあるわけではありません。引き続き精進していただきたいと思います。

(審査員長 中村 美幸)

《各部門総括》

平面の部

どこの街でも市美展には習い事の成果をお披露目する機能があり、多くの市民の発表の場となっている。その中でも周南市美展が他と少し違うのは、作品一つひとつが真摯に制作されており、どの作品も良い緊張感を漂わせておりレベルの高さを感じた。最初に落選作品を選ぶことから始めたが、昨年に引き続き二度目とは言え、随分難航した。結局、2点出されている作品は、一緒に審査にあたった中村氏の提案でどちらかに選ばせてもらった。また、表現という観点から風光明媚な観光写真をただ描いただけの様な作品も省かせてもらった。平面の部門もバリエーションが広く、織り等も工芸部門ではなく平面として出されてはいたが、平面の持つ構成の魅力などに欠けるものは選外とさせてもらった。各賞を決める審査では、構成力・表現力・色彩・素材の魅力・筆跡の力強さに加え、社会性・時代に合った視点であるかどうかという点が決め手になった。良い意味で頭を悩ます審査であった。

(原井 輝明)

立体の部

本展の審査は久しぶりなので、楽しみにしていました。出品作品は、優れた陶芸作品が多く、また木、プラスチック、金属、紙、布、光等の様々な素材を使った作品もあり、見応えがありました。審査にあたっては、十分に時間をかけ、緊張感をもって臨みました。

初めに上位入賞候補作品を選定するため、審査員一人につき14票をもって投票し、特に得票数の多かったものから、合議により準大賞、市美展賞、奨励賞を順次選定していき、最後に入選、選外作品を選びました。

審査員二人に共通していたのは、“立体としての形の魅力や存在感”という評価基準でした。中には、技術的に優れていながら独創性が十分でないものや、魅力的ではあるものの立体として評価するには判断に迷うものもありました。

制作場所の確保や運搬も含めて難しい分野ではありますが、三次元空間に作品を展開できる立体分野は、多くの可能性と魅力を持っています。来年も、多くの出品を期待しています。

(一 田 徹)

書の部

周南市の市美展の審査は今回が二回目である。今年も良い作品が出品されていた。書に対する興味・関心の高さには敬服する。

審査会場には所狭しと、力作が並んでいた。二尺八尺、全紙、半切等々さまざまな大きさの作品が私達を迎えてくれた。

書は、漢字、かな、漢字仮名交じりの書、篆刻等の種類があるが、一分野に片寄ることなく多岐にわたっての出品は圧巻である。審査する側も楽しい。

線が生き生きしていること、漢字の造形が正しく美しいこと、章法、墨色、筆の開閉の的確さ、紙面の空間を工夫しているか、全体の調和等々の観点から拝見した。基礎基本は古典名跡を臨書することによって会得できると思う。やはり良い作品からは、生命の息吹きを感じた。単々と書かれた整齊美も良いが、何かひとつ訴える表現が不足していた。落款の書き方であるが、今年の干支、「丁酉」の「酉」の字の行草に誤字が見られたことは、誠に残念であった。字典で確認して欲しい。

来年も素敵な作品を期待しています。

(松田 政道)

写真の部

全体的に素直に撮られているものが多く好感が持てました。

まず審査としては、シャープネスや彩度をかけすぎていたりするものは外しました。また遠くで見ると美しいのですが、画素数が足らず近くで見ると画像が壊れているものなども外していきました。残念なのは、写真は力強いのに、額装がていねいでないものが少なからずあったことです。

動物を撮るのはむずかしいものですが、今回は動物写真の秀作がめだちました。技術も高く、タイトルが効いているものも多くあり、楽しい気持ちになりました。風景写真も素晴らしいものが多かったのですが、どうしても既視感がつきまってしまう。そんななか最終的に「Time」と「まもなく徳山到着」の二点が残りました。両方とも小さな作品ですが、視点が新鮮でした。画面構成、技術力、空気感などとても力があり、想像力をかき立てられました。

(藤岡 亜弥)

《作品講評》

市美展大賞 平面

「胡蝶の夢」

石原 陽一

近くで見るとフラミンゴや蝶がいることは分かるが、その背景は緑を感じることができがそれがジャングルなのか植物園なのか定かでない歪んでおり、それが何なのか掴めず、不思議な感覚に引き込まれる。離れてみるとそれは流れ落ちる水の壁であることがわかると同時に、滝の内側からの外を見ている情景だと、ようやく気付く。水のカーテンを挟み手前と奥の3つの要素で構成されている。滝の外にはこちらを見ている人物が歪んで描かれており、滝の内から見ている作者の視点はどうやって滝の内側に入ったのだろうかと再び考える時、最初に目にした蝶の視点で見ていたのかと、作品と題名が重なり荘子の大きな思想に広がって行く。



現代は多様な時代であり、個人や立場・環境の違いにも考慮した共生が求められており、この作品は様々な視点に気づかせてくれ、見ていて飽きない作者の聡明さを感じさせる力作である。

(原井 輝明)

市美展準大賞 平面

「深雪」

原田 勝造

何故でしょうか。この作品の前に立つとひんやりとした空気を感じます。長らく人は住んでいないのでしょうか、潰れかけた廃屋に降り積もった雪。時折静寂を打ち破り、ドサドサと枝から雪が落ちる音が聞こえてくるようです。見る人を絵の世界に引き込む不思議な魅力を持っています。それは作者の高い描写力、精緻な筆致によるものです。



抑えた色彩、水彩による透明感のある

画面は、20世紀のアメリカン・リアリズムの代表的な画家、アンドリュー・ワイエスの世界を思い起こさせます。

タイトルの「深雪」は、文字通り深く積もった雪ということでしょうが、雪の美称でもあります。廃屋さえも清らかに覆い尽くす雪。詩情豊かな世界が広がります。

平面部門の2位という結果については、全体にまとまりすぎた印象がある点でしょうか。実力のある作者なので今後さまざまな冒険をしていただきたいと思います。

(審査員長 中村 美幸)

市美展準大賞 立体
「蓮 -REN-」

山根 公子

たおやかな曲線で成形された鉢でシャープさはないが、大らかさとやさしさを併せ持つ。

内面と外面に曲線で構成された紋様は、この作品の最大の魅力であろう。白と黒のモノトーンで彩色されグラデーションが美しい。

また、鉢内部の底に描かれた蓮の白さは、観る者の目と心をひきつける。外面にちりばめられた小さな釉薬の粒も幻想的で心地よい。

陶芸のなかでは際立った秀作である。

(大和 祐二)



市美展準大賞 書
「白鳥は……」

手嶋 孝子

若山牧水の歌1首を長条幅に堂々と書き上げました。とりわけ魅力的であるのは、全幅に生気が横溢していることです。筆力にすぐれ、切れ味のよい線でリズムカルに書き進めて生き生きとした存在感が創出されました。「生きた作品」とでもいえましょうか。これは書表現の上で何より求められるものであり、かつなかなか難しいものですが、本作はこれを得た出色の作品でした。

表現にあたっては31字をオーソドックスな手法で纏め上げ、その力量に日頃の鍛錬の程が髣髴されます。わけても第2行を高い位置から紙面下部へと一気に書き進めた様は圧巻です。行の呼応も美しく、空間の配置、印の位置も絶妙で、落ち着いた色合いの料紙、濃いめの墨色とともによく調和しています。これら表現と歌のイメージとが見事に重なり合い、現代感覚あふれる中に牧水の世界が醸成された秀作です。

(信廣 友江)



市美展準大賞 写真

「まもなく徳山到着」

福屋 重臣

「良い作品は、一枚の写真からたくさんの想像をすることができる」

様々な魅力的な作品のなかからこの作品を選んだ最大の理由です。光の街は美しく流れ、その中にまっすぐ伸びる窓明かりのある電車のシルエット。

技術としても、被写体の動く方向に合わせてカメラを動かしながらシャッターをきり、電車を写し止め背景をぶらす「流し撮り」という巧みな技法を使っています。そして

この技法が過度な演出味で作品の世界観を邪魔することもなく、素直に想像の広がりを持たせてくれているのです。

たくさんの流れ星をくぐり抜ける幻想的な世界、大切な人の待つ暖かい場所、まだ見たことのない希望に満ちた新天地…見る人の心の琴線にふれ、様々な世界を見せてくれる素晴らしい作品です。



(若松 布美子)

周南市美術展運営委員会 委員

委員長 西崎 博史 (周南文化協会 会長)

河村 純一郎 (洋画家)

澤田 小恵子 (周南市連合婦人会 会長、徳山女性団体連絡協議会 会長)

原田 洋子 (人権擁護委員)

藤本 満俊 (陶芸家、周南文化協会陶芸連盟 会長)

有田 順一 (周南市美術博物館 館長)

